

Infomation

7月から『ホール利用促進キャンペーン』が始まります。

1周年を記念して7月から9月の3ヶ月間、平日ホール使用料金を10%割引いたします。



好評！渋うちわ販売中

高瀬蔵では、周辺の史跡や風景などを描いた高瀬蔵オリジナルの渋うちわを限定販売いたしております。絵は5種類で秋丸眼鏡橋、高瀬目鏡橋、高瀬船着場・俵ころがし、高瀬裏川と町家、保田木城です。詳しくは、高瀬蔵へお問合せください。

ご寄付ありがとうございました。

岩下建設(株)様、矢田部様よりNPO法人高瀬蔵にご寄付をいただきました。心よりお礼を申し上げます。お心遣いは、今後高瀬蔵の発展に有意義に使わせていただきます。

国土交通大臣表彰

6月23日、NPO法人高瀬蔵が東京の都市センターホテルにおいて、まちづくり月間国土交通大臣の表彰を受けました。

このまちづくり月間の表彰は、魅力あるまちづくりに取り組む全国の団体・個人を表彰するもので、全国で42団体が選ばれました。

平成17年4月の開館から、さまざまな事業を展開しながら、同法人の目的である「地域文化の再発見と玉名地域の人々と来街者に楽しさと感動を提供する事業」の功績が評価されたもので、全国42団体の代表で北側国土交通大臣から表彰状と記念品が贈呈されました。



表彰状と記念品を受け取る片山理事長

蔵の人気者でした！



蔵の人気者だったつぼめちゃん。5人兄弟のつぼめちゃん。真ん中はお兄ちゃんかな？ 蔵の入り口でたくさんのお客さまを歓迎して、愛らしさで楽しませてくれてありがとう！また、来年も大きくなって帰ってきてネ！（事務局一同）



ボランティアスタッフ募集！

イベント開催時のボランティアスタッフを募集します。ボランティアとして参加したいと思う方は、高瀬蔵までお問合せください。



NPO法人 高瀬蔵

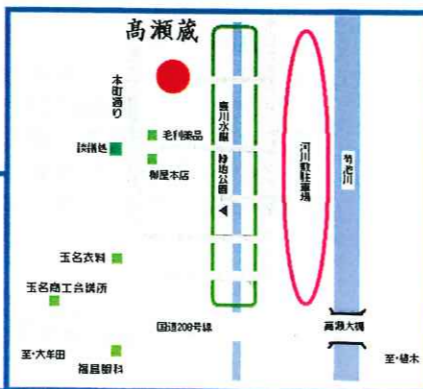
熊本県玉名市高瀬 155-1(〒865-0025)

TEL・FAX 0968-72-2480

E-MAIL takasegura@cup.ocn.ne.jp

URL <http://www.tamana-cci.or.jp/NPO/indexf.html>

開館時間 10:00~24:00(イベント開始時間により変更あり)



◆◆◆ おかげさまで一周年 ◆◆◆

一周年記念「蔵・まちっく」開催！



4月29日(祝)に蔵開きから1周年を記念して、蔵と高瀬のまちが一体となった記念イベントが開催されました。



餅つき・餅投げ

賑わう高瀬蔵周辺

～一周年に感謝を込め～

ピアノ独奏・重唱・童謡・唱歌・アコースティックそして、郷土の舞踊と一周年に相応しい華やかでもりださんの内容のコンサートでした。会場も満員のお客様で埋め尽くされ楽しいひとときを過ごすことができました。これからも末永く高瀬蔵をよろしく願っています。ありがとうございました。(音楽部会)



玉名小学校金管バンドによるオープニングセレモニー

～高瀬蔵一周年記念講演会～

幕末、玉名はすごいサムライを世に出していた4月28日(金)、日本人として今から140年前、始めて世界一周を慣行した肥後藩士、木村鉄太の壮大な日記を現代版に訳し編集、航米記(こうべいき)として出版された高野和人氏(熊本市在住)を高瀬蔵に招き、高瀬蔵一周年記念講演会を実施致しました。

ワシントン、ニューヨークでの使節団の歓迎ぶりや、当時の街なみ及び服装、また、途中立ち寄った西アフリカやインドネシア、香港などの現地の様子や文化について話していただいた。

また、木村鉄太の人間性や使節団に参加するまでの経緯についても話していただき、50名近くの参加者は身近な先人の偉業に、興味を示した大変有意義な記念講演会になりました。(文化部会)



一周年記念講演「高瀬夜嘶」

高野 和人氏

高瀬裏川花しょうぶまつり開催！ 蔵では、さまざまなイベントが行われました！

高瀬蚤の市

5月26,27,28日の3日間、骨董屋さん7店舗による「高瀬蚤の市」を開催しました。昨年に引き続き2回目の開催となります。初日と2日目はすっきりしない天気、3日目にようやく晴れ間が見える期間でしたが、花しょうぶも見頃となり3日間で約4,000人のお客さんが来場されました。出店された骨董屋さんからは、他所ではあまり売れない物がここでは売れたりする、来年も呼んでもらいたいというお話もありました。骨董品の無料鑑定や今年も応援チラシを出して頂いたかずやハウジングさんによるプレゼントとお抹茶のサービスも大変好評で、賑わいをみせた蚤の市でした。(商店会イベント部会)



玉名大物産展

6月5日から8日までの4日間、玉名物産振興協会とたまなブランド協議会の共催により玉名大物産展が開催されました。たまなブランド協議会では、玉名地域の優れた内部資源を活用して個性と魅力を活かした玉名地域独自のお土産品の開発を目指しております。期間中は25店舗が出店、多くの観光客や地元の方々が来場され、賑わっておりました。(ブランド協議会)



花しょうぶまつり窯元展

今年で2度目になる高瀬蔵での窯元展でしたが、昨年同様に大盛況となりました。総入場者数は、9,000人を超え、連日1,000人近くの人に、荒尾・玉名地域20の窯元の焼き物の魅力を楽しんでいただきました。福岡から来られたお客さんは、「しょうぶも見れて、蔵も見れて、こんな立派な焼き物をたくさん見れて、いっぺんに目の正月をさせていただきました。」と大変喜んでいただきました。大分からのお客さんは、「この立派な蔵の雰囲気に焼き物がぴったりとマッチしていてすばらしい。」と賞賛の言葉もいただきました。恒例の福袋も、その場で開けてみて、「わー、いいのが入っていたー！」と大好評でした。多くのお客さんが、花しょうぶと高瀬蔵、それに地元の焼き物との組み合わせに堪能されました。

(荒玉地域窯元振興会 会長 丸山)

高校生デパート

『若蔵 Wakakura』

6月10日から11日の2日間、昨年に引き続き今年も(北稜高、専大玉名高、玉名女子高)三校合同により開催されました、『若蔵 Wakakura』は昨年比115%、5,500人の来館者を数え、多くの買い物客で賑わいました。開催初日はテレビ中継も入り、高校生たちも販売意欲に拍車がかかり、とても熱気ある会場となりました。高校生たちの独創的な販売手法は、我々にも勉強になり、商いの原点を教わった感じです。



若さあふれる『若蔵』会場風景

(商店会イベント部会)

高瀬マイスター倶楽部



【春の郷土を味わう】

5月7日(日)、春の郷土料理を味わうが当会員大林さんと高瀬のご婦人方の協力により催されました。ちらし寿司、酢のもの、寒天を中心に6品が、テーブルに並べられ、参加者は、真心を込めて作られた郷土の味に会話をはずませながら、箸を進めていました。参加された方からは「素朴ながらおいしい料理に満足致しました。」「楽しいひとときをありがとうございました。」等の感想をいただき、2年目を迎え最高のスタートを切る事ができました。



(文化部会)

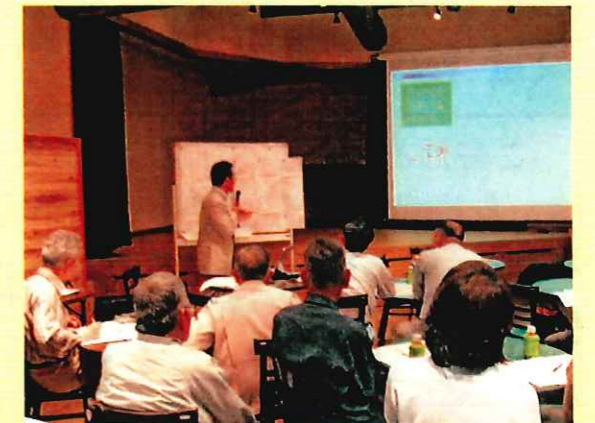
高瀬夜噺

今年度、第2夜(5月19日)は高谷和生氏の「高瀬と大浜飛行場」～玉名に残る戦争遺跡を掘り起こす～と題してお話がありました。

戦争遺跡とは、明治期から昭和期の第2次世界大戦までの近代軍事関係の遺構、遺物が対象である事の説明。また昭和17年5月に旧陸軍の玉名飛行場として建設された大浜飛行場は1000メートル級の2本の滑走路があり、昭和20年の空襲を受けるまで、多くの軍人が飛行訓練を行なった。また当時、九州に9箇所あった飛行場にも数多く行き来していたことを資料により分かりやすく話していただいた。

参加者からは、「戦争の遺跡から平和の大切さを考える事ができました。」「戦争の悲惨さ、平和である事の大切さを改めて認識しました。」などの感想が出ました。

18年度も高瀬夜噺は毎月1回、多種多様な噺の準備をして皆様をお待ちいたしております。是非高瀬蔵に足を運んでみてください。



第2夜「高瀬と大浜飛行場」

高谷 和生 氏

高瀬ほりだし写真展

1周年を記念して4月下旬から花しょうぶ期間中にかけて、高瀬ほりだし写真展が開催されました。高瀬地区の昔なつかしい風景写真をはじめ、現在の裏川から商店街一帯の町家など55作品を写真で展示紹介しました。小蔵の柱と貫きで囲まれた漆喰部分がキャンバスとなりギャラリーとしての雰囲気が醸し出されました。



(まちづくり推進部会)